

SCAI 2023 Fellows Courses に参加して

東京女子医科大学病院 循環器小児・成人先天性心疾患科 朝貝省史

2023年12月1日から4日まで、Hyatt Regency Miami Hotel で行われた SCAI 2023 Fellows Courses に参加したので報告致します。総勢 300 人程度の fellow が Interventional Cardiology, Congenital Heart Disease, Advanced Structural Vascular, Advanced Structural Heart Disease と 4 つのコースに分かれて参加し、その中の Congenital Heart Disease Course に参加してきました。Congenital Heart Disease Course は 35 人ほどが参加しており、多くが欧米人、1-2 割程度がアジア人で日本人は 1 人でした。長く同じ施設で勤務していることもあり、新しい事を経験したい、海外の高名な先生方から直接話を聞いて吸収したいという気持ちで応募させてもらいました。

初日は fellow による Case presentation がありました。幸いなことに 5 演題の 1 つに選ばれ、“Case of stent implantation for RPS after Yasui procedure”という演題で発表しました。語学力が拙く、英語でのプレゼンテーション、質疑応答がうまくできるか心配でしたが、そんな心配をよそに、moderator や panelist の先生方は真剣に耳を傾け、建設的なご意見を頂くと共に、fellow からも「good presentation!」と言ってもらえました。海外での発表にはもちろん語学力は必要ですが、そこまで海外の先生方は気にしておらず、純粋に発表内容が良ければ賞賛するし、意見を述べてくれるということを感じ、良い経験となりました。

翌日から 3 日間は朝から夕方まで lecture と group discussion が中心に program が進みました。lecture では catheter intervention (coil, balloon, device, stent) について疾患毎の講義や trouble case の対処法 (coil、device 脱落、micro catheter、wire 断裂の回収手技) についての講義など新生児期から成人期、CHD 領域全てを網羅する内容を拝聴することができました。特に日本に導入されていない様々な device の特徴や VSD closure について、PDA stent における画像評価やサイズ選択について、PA/IVS における PTPV の technique など、どれも実臨床に即した内容で大変興味深く拝聴することができました。

また毎日 group discussion の時間が設けられました。・「Case Complication and Management」(complication 症例に対してどのように治療をすすめていくか、どのような事前な準備をしたら回避できたか)、・「Flip Classroom Session」(治療方針が難しい症例 (2 カ月 TOF で RSV 感染後に重症 spell を起こした症例の治療方針: PDA stent か RVOT stent か surgical repair か、極低出生体重児の cAS, complex CoA 症例の出生直後の治療方針: 穿刺部位や使用バルーン、追加治療の必要性について、など))、・「Case presentations」(PDA stent migration 症例、repaired TOF, AR, PR, TPVI 後に左室拡張障害を来した症例、PA/IVS, biventricular repair 症例における device closure の可否など、血行動態の把握・評価や治療方針について) という内容で、fellow が 5 つの group に分かれ、5 つの症例に対して mentor が中心となり、fellow 同士で group discussion を行い、意見をまとめて発表というものでし

た。適切な mentor からのアドバイス、海外の fellow の知識を共有することが出来て大変勉強になりました。一方で自分の語学力の拙さを痛感すると共に、fellow の積極性と知識の豊富さに刺激を受けました。

その他、lunch や lecture の中で mentor の先生方がどのような事を意識して fellow に指導しているか、手技中の注意点などを随所に話して頂き、参考になることばかりでした。

SCAI 2023 Fellows Courses では英語漬けの日々で大変な部分もありましたが mentor や fellow との交流はとても刺激的で充実した 4 日間でした。日本では導入されていない device や stent など海外の素晴らしいところもありましたが日本の catheter intervention の良いところ（きめ細やかな治療方針の構築や coil や balloon の充実）も感じる事が出来ました。

今回、このような貴重な機会を提供して下さった小児循環器学会山岸理事長や推薦して下さった学術委員会の先生方に深謝するとともに、快く送り出して頂いた東京女子医大循環器小児・成人先天性心疾患科の医局員の皆様に感謝したいと思います。この経験を元にさらに catheter intervention に精進するとともに、語学力を向上させ、国際学会での発信や小児循環器学会への還元を果たして参りたいと思います。

